

証券市場新聞

1 第183号

日経平均株価

2万1116円89銭

▲84円89銭(前日比)

TOPIX

1546.71

▲5.21(前日比)

2019
6/17
月曜日

発行元 株式会社 証券市場新聞社

〒542-0081 大阪市中央区南船場3-7-27 NLC心斎橋ビル6C

TEL 06-6105-1904 FAX 06-7635-7861

marketpress.jp



株主総会に「熱い」視線

存在感高まるアクティビスト

3月期決算企業の株主総会が今年も6月13日のトヨタ自動車(7203)を皮切りに27日前後にピークを迎える。ひと昔前の株主総会といえど取締役や監査役の選任など事前に決められた議案の採決だけを行う「シヤンシヤン総会」が定番だった。しかし、近年では株式を一定程度取得したうえで投資先企業の経営陣に積極的に提言、企業価値の向上を目指す投資家「アクティビスト」の台頭で様相が一変しており、総会の動向で株価が変動する状況になっている。

大きな株価変動要因に

たことは記憶に新しい



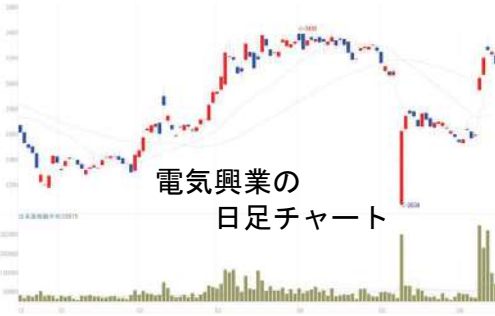
アクティビストの先駆けとなったのが村上ファンドで、2006年には阪神電気鉄道に保有企業が近年話題になっており、今年に入ってレオパレス21(8848)の大量保有や廣済堂(7868)へのTOBが表面化、株主総会でも注目されることは間違いないだろう。

ヤピタルもアクティビストの代表格で、大株主に浮上した浅沼組(1852)の株価は5月24日に3875円にまで急騰。政策保有株式の売却や一当たり配当金合計504円とする増配を目的として26日に開催される定時株主総会における議案を送付している。同様にストラテジックキャピタルの保有で

は世紀東急工業(1898)や極東貿易(8093)へも議案を送付しており、これら総会の動向に関心が集まっている。アクティビスト以外では、経営トップ人事で内紛が起こっているLIXILグループ(5938)の株主総会も熱い視線が向けられており、5月16日の1304円を底に上昇している株価にも引き続き注目したい。

日経平均日足チャート





電気興業の日足チャート

電気興業一時S高 自社株買いと前期77%増益

週明け10日、電気興業(670)が一時ストップ高。上限28万株(自己株式を除く発行済株式総数に対する割合2・28%)、または6億5000万円の自己株式取得枠を設定した。取得期間は6月10日から10月31日まで。同時に遅延していた

19年3月期決算を発表、連結営業利益26億9000万円(前の期比77・2%増)で着地し、20年3月期は27億円(前期比0・4%増)を見込んだ。

HIS直近3カ月減益

10日、エイチ・アイ・エス(9603)が急反落、年初来安値を更新した。19年10月期第2四半期累計の連結決算は、営業利益89億7900万円(同17・2%増)と2ケタ増益で着地したが、直近3カ月の2〜4月期では16・3%営業減益だった。ハウステンボスの入場者数が減少したほか、ホテル売却や開業費用が収益を圧迫した。

カー用品株後付け期待

11日、バッファロー(3352)がストップ高に買われたほか、オートウエーブ(2666)やカーメイト(7297)も値を飛ばすなどカー用品株が高い。「政府は75歳以上の高齢ドライバーを想定し、新しい運転免許制度を創設する」との報道を材料視。安全運転支援システムを搭載した自動車に限り運転を

モノタロウ月次23%増

11日、MonotaRO(3064)が継続。5月度の月次売上高が前年同月比22・6%増となったことが好感された。

Jエスコム連続S高

11日、ジェイエスコムホールディ

今週の動意銘柄

東レがん検査承認申請

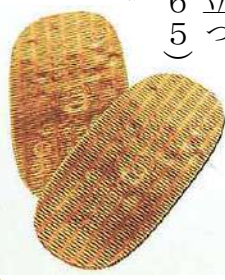
10日、東レ(3402)が急伸。「血液1滴から様々ながんを発見する検査キットについて、2019年中に厚生労働省に製造販売の承認を申請する」と報じられた。20年にも承認される可能性が高く、今後の収益貢献を期待した買いを集めた。

正直いいさんの株で大判小判

14日の東京市場は3日ぶりに反発しました。薄商いに方向感に乏しい展開が続いていますが、225先物オプションのSQ値2万1060円56銭を上回って引けたことで安心感が高まったといえそうです。ただ、ファーストリテなど一部の主力が指数を押し上げており、全体的に買戻しが中心で、下値は限定的でも上日からのFOMCの内容を確認するまでは、暫くは方向感の乏しい展開が続くでしょう。

FOMCまでは様子見

個別ではピットり上げていいるイットたん利食い、397)を追撃イオ関連株の動きが目立っており、ソーせい(4565)に追撃買いを入れ、高値更新の大陽日酸(4091)も打診買いを入れてみました。 花咲翁



ネオジャパン増収減益

12日、ネオジャパン(3921)が急反落。20年1月期第1四半期の単独決算は、売上高7億7800万円(前年同期比17・4%増)、営業利益は1億7

200万円(同7・7%減)と2ケタ超の増収ながら減益で着地した。主力のクラウドサービスの拡大で売り上げが伸びたが、売上原価と販管費、人件費負担増が収益を圧迫した。

様々な追加コンテンツ

カプコン

バイオ5と6を今秋からSwitchで



バイオハザード6

「バイオハザード5」と「バイオハザード6」を収録されている。

「バイオハザード6」は、大人の名作シリーズで新たに「バイオハザード6」のP同時プレイや発売当時には別売りの追加コンテンツが収録されている。

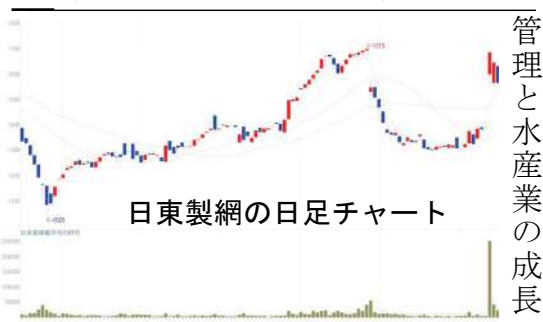
ゼルスで開催された世界最大のゲームショーE3 (Electronic Entertainment Expo) でプレイシリーンの「バイオハザード5」をプレイし、4つの物語で世界規模のバイオテロを描く極上のホラーエンターテインメントシリーズで、人気キャラクターの競演で描いた大作「バイオハザード6」。

企業レター

カプコン (9697)

は、アメリカのロサンゼルスで開催された世界最大のゲームショーE3 (Electronic Entertainment Expo) でプレイシリーンの「バイオハザード5」をプレイし、4つの物語で世界規模のバイオテロを描く極上のホラーエンターテインメントシリーズで、人気キャラクターの競演で描いた大作「バイオハザード6」。

12日、日東製網 (3524) が一時ストップ高まで買われ、東証1部値上がり率トップに立った。20年4月期の業績予想について、連結売上高210億円 (前期比11.9%増)、営業利益11億5000万円 (同33.4%増) と大幅な増益を見込んだ。昨年末に適切な資源



日東製網値上りトップ

今4月期33%営業増益見込む

産業化を両立させるため70年ぶりに漁業法が改正されたが、漁業者を取り巻く環境の大きな変化を好機ととらえ、漁具資材の需要の高まり、ニーズを確実に取り込んでいく。

公開価格21%上回る

ユーピーアールの初値12日、ユーピーアール (7065) が東証2部に新規上場、公開価格3300円を21.2%上回る4000円で初値が生まれた。パレット等の物流機器のレンタル、販売などを行う。

変化日での対応

先週の東京株式市場は上を取りました。米国利下げを後押しする市場予想を下回った5月の雇用統計。それを受けて6月7日に大幅高したNYダウの影響で、先週の日経平均は週足の窓を空けての上放れスタートとなりました。ただ、売買代金2兆円割れが続き、上を取った割には活況にほど遠い静かな上昇。香港でのデモやホルムズ海峡でのタンカー攻撃など地政学的なリスクが台頭する中、小動きの一週間で上下幅は327円に限られました。

今週21日、来週25日に日柄変化日を迎えます。理想はそこへ向けて急落しボトムアウトすることです。先週12日の戻り高値から4月下旬ないし5月下旬の二度の下落幅を当てはめると、1万9648円ないし2万118円がターゲットで押し目買い好機。逆に5月20日高値を抜くケースでは順張りで乗るところとなります。 日々勇太郎



転ばぬ先のテクニカル

HEROZ 連続最高益

13日、HEROZ (4382) が大幅高、年初来高値を更新した。20年4月期も売上高16億3000万円 (前期比18.3%増)、営業利益5億2000万円 (同23.7%増) と2ケタ超の増収増益で3期連続最高益更新を見込んだことが好感された。

将棋AI研究で培った最先端の機械学習ノウハウを蓄積した「HEROZ Kishin」をAI (Bot) が大幅高、年初来高値を更新した。20年4月期も売上高16億3000万円 (前期比18.3%増)、営業利益5億2000万円 (同23.7%増) と2ケタ超の増収増益で3期連続最高益更新を見込んだことが好感された。

PXB 米国で特許

13日、フェニックスバイオ (6190) がストップ高。その製造方法、高尿酸血症治療剤のスクリーニング方法に関する発明が、米国で特許登録されたと発表された。すでに国内では特許を取得しており、高尿酸血症治療剤の研究開発に寄与するとしている。

鉄道変電向け売上が好調

近東各国を重点に営業活動を行った結果、鉄道変電設備向けにインターフェイ

更なる成長へ果敢に挑戦 省力化・省人化を叶える新製品

不二電機 (6654)

不二電機工業(6654)は創業以来、電気制御機器専門メーカーとして高い評価を得ており、カムスイッチに代表される制御用開閉器や表示灯・表示器、接続機器、電子応用機器が高品質で信頼性の高い製品として電力や工業分野、交通、ビル設備など幅広い分野で採用されている。

端子台をはじめとする電力向けの製品や太陽光発電向け接続箱、海外向けの遮断器用補助スイッチなどが減少したことで、20年1月期の第1四半期(2~4月)単体決算は売上高で8億5600万円(前年同期比14.5%減)、営業利益で3000万円(同74.6%減)と減収減益になっている。しかし、国内では電力や

特選銘柄

公共・一般産業、鉄道車両業界、海外では東南アジアや中

スユニットなどが増加しており、セマフォア表示式故障表示器や落下式故障表示器など海外電力設備向けの売上も回復基調にある。

高齢化や労働人口の減少に着目した省力化・省人化を実現するアルミ端子台やスマートメーター用無停電交換用コネクタなどの新製品を開発。長期経営計画達成に向けて、戦略的開発製品を武器に既存の市場にとらわれない営業活動を展開し、全社一丸となり、更なる成長に向けて果敢に挑戦していく。



不二電機の日足チャート



ウエストHDの日足チャート

再生エネ関連大幅安

固定価格買取制度終了と伝わる

安。経済産業省は太陽光や風力発電は太

- 13日、ウエスト
- ホールディングス
- (140)
- 7) やサ
- ニックス
- (465)
- 1) レ
- ノバ(9)
- 519)
- など再生
- エネルギー
- 柄が大幅

手電力会社が買い取る制度を終了させる方向で調整に入ると伝わったことで、収益への影響を懸念した買い取り費用の上乗せ額は標準的な家庭で

年間9000円を超えており、競争入札制度を導入してコストを低減、価格が一定の基準を下回った場合は国が補填する制度を検討している。

Bガレージ18%増益で自社株買

週末14日、ビューティガレージ(3180)が大幅に6日続伸。20年4月期の業績について、連結売上高160億3500万円(前期比15.8%増)、営業利益7億4300万円(同18.3%増)と増収増益を見込んだ。ロイヤル顧客の拡大と一顧客あたりの年間利用額の増加を目指す。同時に自己株式取得枠の設定を発表。上限10万株(発行済株式総数に対する割合1.5%)または1億2000万円で取得可能となる。

3DMAT独占販売権契約

14日、スリー・ディー・マトリック(7777)がストップ高。欧州全域での消化器内視鏡手術向けPurastat、富士フイルムホールディングス(4901)の子会社と結んだ。富士フイルムが持つ幅広い顧客基盤に直接売り込むことで、営業期間の大幅な短縮と即時の顧客カバレッジ拡大が可能となる。

今週の動意銘柄

潮流

問題は不公平な市場取引

個人投資家のチャンス奪われる



過去最高値の2万6828ドルまであと580ドルにまで迫った。この間、日経平均も970円上昇し、2万1000円台に回復したが、市場参加者が少なく活気がない。

6月13日まで東証1部の売買代金は6日続けて2兆円を割り込んだ。現在、市場参加者の約75%は外国人投資家だ。個人投資家の参加者が極端に少ない。米中貿易問題や香港情勢、消費増税など市場を取り巻く環境は良くないが、問題はそれだけではない。株式市場において利益を出すチャンスを奪われていることが大問題なのである。

ヘッジファンドは日経225先物を使って日経平均を乱高下させている。問題なのが米シカゴ(CME)市場で日経225先物を大幅に下落させることで、翌日の日経平均先物が売り気配となり、個別銘柄も売り気配となってしまうことだ。具体的な例で示す。5月7日の日経225先物は2万1940円で終えた。その日の夜から取引される米シカゴ(CME)市場で日経225先物は2万1650円と東証終値比290円安で終えた。翌日、5月8日の日経平均先物は340円安で始まった。5月7日にファーストリテイリングは6万3300円で終えた。8日は売り気配となり1280円(▼2%)急落、



ダウ平均は6月4日から6営業日で1247ドル上昇した。2018年10月3日に付けた

過去最高値の2万6828ドルまであと580ドルにまで迫った。この間、日経平均も970円上昇し、2万1000円台に回復したが、市場参加者が少なく活気がない。

6月13日まで東証1部の売買代金は6日続けて2兆円を割り込んだ。現在、市場参加者の約75%は外国人投資家だ。個人投資家の参加者が極端に少ない。米中貿易問題や香港情勢、消費増税など市場を取り巻く環境は良くないが、問題はそれだけではない。株式市場において利益を出すチャンスを奪われていることが大問題なのである。

ヘッジファンドは日経225先物を使って日経平均を乱高下させている。問題なのが米シカゴ(CME)市場で日経225先物を大幅に下落させることで、翌日の日経平均先物が売り気配となり、個別銘柄も売り気配となってしまうことだ。具体的な例で示す。5月7日の日経225先物は2万1940円で終えた。その日の夜から取引される米シカゴ(CME)市場で日経225先物は2万1650円と東証終値比290円安で終えた。翌日、5月8日の日経平均先物は340円安で始まった。5月7日にファーストリテイリングは6万3300円で終えた。8日は売り気配となり1280円(▼2%)急落、

6万2020円で寄り付いた。この間の取引は出来ない。同様に5月7日にソフトバンクグループは1万1465円で終了。8日は売り気配となり215円(▼1.8%)急落、1万1250円で寄り付いた。この間の取引は出来ない。5月7日に東京エレクトロンは1万7195円で終えた。8日は売り気配となり485円(▼2.8%)急落、1万6710円で寄り付いた。この間の取引は出来ない。

6万2020円で寄り付いた。この間の取引は出来ない。

同様に5月7日にソフトバンクグループは1万1465円で終了。8日は売り気配となり215円(▼1.8%)急落、1万1250円で寄り付いた。この間の取引は出来ない。

5月7日に東京エレクトロンは1万7195円で終えた。8日は売り気配となり485円(▼2.8%)急落、1万6710円で寄り付いた。この間の取引は出来ない。

つまり、ヘッジファンドが米シカゴ(CME)市場で日経225先物を大幅に下落させると次の日の日本株式市場で多くの銘柄が売り気配で始まり、寄り付いた時には既に急落している。通常は急落する過程でも売り買いが当然できる。その過程で弱気な投資家は売り、強気な投資家は買いを入れる。その投資チャンスを奪われているのである。このように不公平な市場が事実存在しており、この構造的な問題を解消しない限り、個人投資家の市場参加者の増加は見込めないだろう。

潮流銘柄は、Ubicomホールディングス(3937)、インフォコム(4348)、NSW(9739)。

から優勝。直近では2017年1月に始まった夕刊フジ主催の「株・1グランプリ」において優勝。1カ月間における3銘柄の合計パフォーマンスでは155%と断トツの結果。週刊現代、週刊ポスト、夕刊フジ、ネットマネー、月刊カレントなど幅広く執筆活動を行う。現在、個人投資家に投資情報サービスを行う。http://marketbank.jp



岡山憲史氏(株式会社マーケットバンク代表取締役)のプロフィール

1999年2月日本初の資産運用コンテスト「第一回S1グランプリ」にて約1万人の参加者の中から

先物で日経平均を乱高下

相場展望

強気相場が続くものと判断する。ニカル分析から日経平均は当面、

年6月4日の安値を結んだ下値のサポート・ラインを伸ばしている。このフラッグを上突き破り、今年の4月25日の高値を更新すると、日経平均は新しい相場の波動を形成することになる。次に日経平均の強気転換及び弱気転換を明確に示す新値三本足において、5月7日の2万1923円で陰転し、12本の陰線を入れて、6月10日に2万1134円で大陽転した。NYダウも6月7日に陽転し、世界の株式市場

国際テクニカルアナリスト 武蔵 宗久 氏

今後の相場を展望する為、日経平均株価をテクニカル分析した。まず、昨年10月2日の高値2万4270円から急落し12月25日の1万9155円まで5115円下落した。その後、今年4月25日の2万2307円まで61.6%戻した。これはエリオット波動理論の戻りの限界である。その後、6月4日の2万0408円まで調整した後、現在は上昇相場に転じている。

次に昨年10月の日経平均の高値以降の価格帯を分析すると、多くの期間において2万1000円から2万2000円の相場で推移している。以上のことから当面株価はこの価格帯で上下する可能性が高い。今後株価が大きく「変化」するポイントは、昨年10月2日の高値と今年4月25日の高値を結んだ、上値のレジスタンス・ラインと、昨年12月25日の安値と今年6月4日の安値を結んだ下値のサポート・ラインを伸ばしている。

日経平均は上昇相場へ変化 今後の動きをテクニカル分析

6月22日(土) 第2回 株式セミナー in 大阪

主催：(株)証券市場新聞社 申込はTEL06-6105-1904またはinfo@marketpress.jp まで！

2019年6月22日(土)14:00~17:00 受付・開場13:00 参加料:無料 定員:50名

大化け特選3銘柄を教えます！

数々の株式コンテストで優勝した岡山憲史さんが登壇



岡山憲史氏(株式会社マーケットバンク代表)1999年2月日本初の資産運用コンテスト「第一回S1グランプリ」約1万人の参加者の中から優勝のほか、多くのコンテストで優勝。1カ月間の3銘柄合計パフォーマンス155%と断トツ。マーケットバンク設立以降、17年以上にわたり安定した高パフォーマンスを継続する画期的運用手法とサービスを提供。

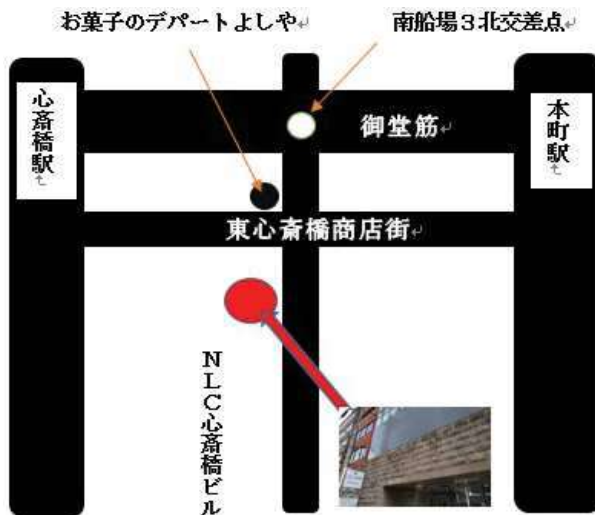
コラム「転ばぬ先のテクニカル」でお馴染み日々勇太郎さんも登壇

田島直人氏 国際テクニカルアナリスト連盟認定テクニカルアナリスト、高木証券で個人投資家向け資産アドバイザーを経て、19年4月に独立系ファイナンシャルアドバイザー、大阪証券仲介(株)を立ち上げ移籍。

- 第1部 14:00~14:50 「転ばぬ先のテクニカル」日々勇太郎こと田島直人さんによるテクニカル解説
- 第2部 15:00~16:30 「大阪サミットで相場が大転換」~サミット後に大幅高となる銘柄~ 岡山憲史さんによる株式講演会

会場：NLC心齋橋ビル 7階セミナールーム

〒542-0081 大阪市中央区南船場3-7-27



*先着40名様にマーケットバンク発行のカレント経済ノート「主要経済指標」2019年版(定価1,000円)をプレゼント!

今週の

活躍期待銘柄



UFHD (4235)

大型航空機向け採用に期待

ウルトラファブリックス・ホールディングス(4235)の株価は6月4日の年初来安値1461円で底打ち確認、25日移動平均線まで戻してきた。好実態見直しからまずは2000円回復を期待したい。

湿式合成皮革で先駆、家具用と自動車用を中心に航空機向けなどにも展開している。自動車用はギアシフトブーツに加えてシート等高い耐久性や耐久性が求められる用途にも採用が増加し、19年12月期は第1四半期(13月)の営業利益で3億1600万円(前年同期比88.3%増)と大幅な増益を達成、通期予想である18億円(前期比54.1%増)に達成へ向け順調に推移している。

航空機用では、プライベートジェットに加えて、大型の民間航空機でも採用され、先行き戦力化してきそうだ。

今期54%営業増益達成へ



都築電気(8157)

20年3月期計画は最低ライン

都築電気(8157)は5月23日付けた年初来高値1276円を付けてから25日線割れまで売られ当面の底値を確認、大勢上昇トレンドのなか、一段高を志向してきた。ネットワークとシステムインテグレーションが2本柱で、LINEなどオムニチャネル連携やAIコンタクトセンターなど最新技術に対応した商談が増加、サーバ、PCの入替需要に加え、大規模ITインフラ構築も活発している。20年3月期は連結営業利益35億円(前期比5.5%増)を予想したが、19年3月期は上方修正で、33億1800万円(前期期比30.7%増)と大幅増益で中期計画目標を前倒し達成しており、あくまで最低ラインと見てよさそうだ。

PERは8.5倍と割安で、年間配当39円を継続することから、利回りは3.3%台の高水準。

PER8.5倍で配当利回り3.3%

※チャートは日足

高野恭壽の株式情報 **これでどや!!**

2万1000円保つか

株式市場新聞の名物コーナーが復活!



高野恭壽(たかのやすひさ)氏 1949年生まれ、大阪府出身。株式市場新聞大阪支社長、株式新聞社大阪本社代表を経て株式評論家として独立。講演会のほか、ラジオ大阪「タカさんの新鮮・株情報」をはじめTV、ラジオに多数出演。「株式投資30カ条」など著書も執筆。

6月第2週の東京市場は膠着感の強い動きになりました。この欄を執筆している13日の相場は寄り付きから反落しました。

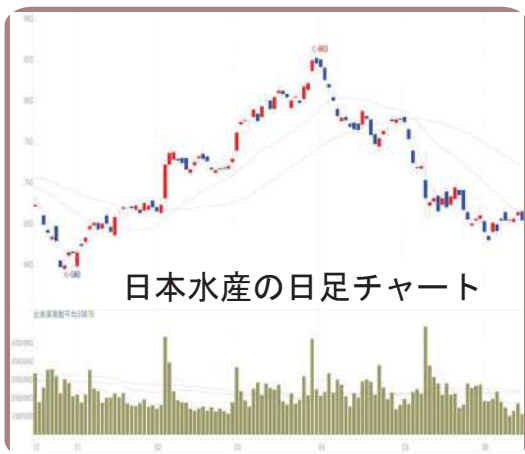
寄り付き後も戻りは鈍く、2万1000円割れとなつたのですが、大きく戻すパワーがなく様子見の動きになり低迷したままです。そのまま引ける結果になりました。半導体系の東京エレなどが軒並み大きく下落幅が大きく、原油安から資源系、海運、金融、小売りなどといった業種が低迷してしまいました。そうした中で比較的値を保ったのが、第一三共

調整から抜け出す日水

て引けました。やはり、今回の相場をけん引した銘柄であり、この初押しは下値で根強い買い物が入ったといえるでしょう。また、NECC(6701)も同様に寄り付きこそ反落したのですが、引けはキッチリプラスに転じていました。日立製作所(6501)は反落したものの、売りものをこなしながら下値を固めつつあります。新しい動きとしては1か月余りもみ合っていましたDENA(2432)です。2100~2200円のもみ合いゾーンから抜け出す動きがみられ注目すべきでしょう。小物が活躍していますが、その中でこの欄でも何度か紹介しています自律制御システム研究所(6232)が急反発し、5000円台を回復していました。更に、上値追いの可能性が強そうですね。HEROZ(4382)が好決算をみて急騰しました。2万円目前まで上げたのですが更に、一段高に向かうかどうかは判断が分かれるところだと思います。週初の動きを見て判断したいと思います。

(4568)です。朝方は反落したものの、次第に値を戻し6000円台をキープし

00円台に乗せて新局面に突入してきました。目先的には利食い売り後の動きを見て追撃できるか判断したいと思っています。低位材料系では日本水産(1332)が調整局面から抜け出す動きになる可能性が強くなってきました。ここは注目すべきところですね。アンジェス(4563)は700円をキープしましたが、上値での値の維持が弱く、まだ上値を追うのは早いのかもしれません。目先的には日経平均が2万1000円を保つかどう注目を注目したいところですね。



日本水産の日足チャート

高野恭壽公式ホームページ
高野恭壽の株式市場情報
これでどやー!!
<https://marketpress.jp/kabu-takano/>
毎日情報を配信中!

星野三太郎の株街往来

～崩壊した「100年安心」～

金融庁が提言

した「老後資金2000万円必要」との報告書が物議を醸している。今回の金融庁の報告書では平均的な高齢夫婦の場合、公的年金などでは毎月約5万円の赤字が続き、退職後の30年間で2000万円が不足するとの例を示している。

倒産して転職を繰り返すなど収入が不安定な人とは事情が大きく異なる。筆者の世代で多いのはバブル崩壊後に勤務先が経営難で倒産や事業縮小となり無職になる後者の例。その後の転職で大半は収入が減少して、親の介護などで支出が増えるなかで貯蓄はむしろ減少する方が少なくない。金融庁は運用を推奨しているが、基本長期右肩上がりのニューヨークダウと異なり、最高値から未だ半値の日経平均という日本の環境下で運用しろ！と言ってもそれは一般人にとって酷な話だろう。年金「100年安心」制度を謳っていただけに、今回の報告書は無責任感と思う方も多いだろう。欧米のように運用を国民に浸透させるなら、それなりの市場環境作りも必要。ただ、言えることは自分のことは自分で守るしかない。



New product

「初夏のおすすめ」期間限定で グルメ杵屋 杵屋、井井亭、麦まるなどで販売



グルメ杵屋(9850)は「初夏のおすすめ」として「杵屋」、「井井亭」、「麦まる」、「おらが蕎麦」、「そじ坊」などの店舗で期間限定商品の販売を行っている。

「杵屋」では涼づくしとして、「あかもくねばとろうどん」や揚げ茄子と肉味噌のピリ辛冷しうどん定食など、「麦まる」では、「あかもくのねばとろうどんとカレーライスセット」、「井井亭」では初夏の井ぶりとして、初夏の上天井、「そじ坊」、「そば野」、「結月庵」の3店では明石蛸のぶつ切り、明石蛸と長芋のガーリック炒めなどを、「おらが蕎麦」では夏おすすめとして鰻巻きなどを発売している。

初夏のおすすめ

「あかもくのねばとろうどんとカレーライスセット」、「井井亭」では初夏の井ぶりとして、初夏の上天井、「そじ坊」、「そば野」、「結月庵」の3店では明石蛸のぶつ切り、明石蛸と長芋のガーリック炒めなどを、「おらが蕎麦」では夏おすすめとして鰻巻きなどを発売している。

静かで風が気にならない

大和ハウス工業

寝室用パネルエアコン「眠リッチ」



大和ハウス工業(1925)グループのフジタは、長府製作所(5946)と共同開発した、

寝室用パネルエアコン「眠リッチ」

「眠リッチ」は、6月12日から発売した。

強い熱エネルギーを持つ空気をゆっくりと放出する「ハイレンジ・薄型ヒートポンプエンジン」に変換する「サーモテックファインバーパネル」を組み合わせることで、結露が発生せず、かつ高い放射冷暖機能を実現したもので、睡眠時に最適な室内環境を提供し、ストレスを低減。家庭などの冷暖房として新規性・進歩性があると認められ、2つの特許を取得した。今後、全国のマンションや戸建住宅などへ順次導入を目指すほか、全国のデベロッパーや住宅メーカー、ホテルなどの事業者や一般消費者への提案を進める。



た。波乱の無いSQ週であった。今週の注目は19日に開かれるFOMC(米連邦公開市場委員会)である。事前の予想では6月に利下げに踏み切る確率は16%、7月は78%と予想されているが、6月に利下げされるとイパクトは大きい。日本にとっては米国の利下げは円高要因になるため、利下げをきつかけ

注目されるFOMC

「十字線」で上値は重い？

先週の日経平均はトランプ氏の「メキシコからの輸入品に對しての関税を見送る」との発言で戻りを試す動きとなった。12日には2万1259円70銭の戻り高値を付けた後、売りに押されたが、高値を付けた後失速し、結局相場転換を示唆する「十字線」の形となっており、上値は重たそうである。ただ、抜けてくると2万1500円までの戻りが考えられる。

下値メドとしては横ばいの転換線(2万774円処)、6月5日の窓埋め(2万464円57銭)があげられよう。今週はFOMCを意識して揉み合いの展開となる。(ハチロク)

敏腕先物トレーラー ハチロクの裏話

に相場が大きく動く可能性もある。20日の日本時間未明に結果発表される。20日の日本時間未明に結果発表される。

当面のスケジュール

- ・ 14日 米5月小売売上高(21:30)
米5月鉱工業生産・設備稼働率(22:15)
- ・ 17日 5月首都圏新規マンション発売(13:00)
米6月NY連銀製造業景気指数(21:30)
米政府は対中関税について公聴会開催の見通し
- ・ 18日 独6月ZEW景況感指数(18:00)
FOMC(~19日)
米5月住宅着工件数(21:30)
- ・ 19日 日銀金融政策決定会合(~20日)
5月貿易統計(8:50)
5月訪日外客数
パウエルFRB議長会見(経済見通し発表)
- ・ 20日 黒田日銀総裁会見
4月全産業活動指数(14:30)
5月コンビニ売上高(16:00)
EU首脳会議(~21日)
米1-3月期経常収支(21:30)
米5月CB景気先行総合指数(23:00)
- ・ 21日 5月消費者物価指数(8:30)
米5月中古住宅販売件数(23:00)



編集後記

週末22日、弊紙主催の第2回株式セミナーを開催する。講師は前回と同じく、マーケットバンク代表の岡山憲史氏とコラム「転ばぬ先のテクニカル」の日々勇太郎こと国際テクニカルアナリストの田島直人氏だが、サミットや株主総会と重なることで参加者が初回より少ない。ただ、この時期の開催は岡山氏からの要望で、田島氏も「ちょうどいいタイミング」と言う。売方のポジション縮小の動きながら下値には買いが入り、底堅さが意識され始めた。サマラーリへ仕込みの好機ということだろう。

【ご注意】証券市場新聞は投資の参考になる情報提供を目的としており、投資の勧誘をするものではありません。記事には業績や株価、出来事について今後の見通しを記述したものが含まれていますが、それらはあくまで予想であり、内容の正確性、信頼性、予測的正確性を保障するものではありません。当紙が掲載している情報に基づく投資で被らねたいかなる損害について、当社と情報提供者は一切の責任を負いません。投資についての決定はすべてご自身の判断、責任でお願いいたします。